



## ふれあいデー・常小展 保護者・地域の方との交流活動

12月2日（土）に、保護者や地域の方にご来校いただき、ふれあいデー・常小展を開催しました。



ここ数年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、親子での学区散策オリエンテーリング（R2年度）や常小オリンピック2021（親子運動会）（R3年度）など、これまでと形を変えて行ってきました。しかし、保護者や地域の方との絆をよりいっそう深めていくためには、地域の方を講師としてお迎えし実施してきた以前の形に戻すことが必要不可欠だと考え、昨年度からリニューアルしたふれあいデー・常小展を企画し、今年度も実施に至りました。

1年生は「あやとり」と「折り紙」、2年生は「風車作り」、3年生は「ゴム鉄砲作り」の講座を体験しました。4年生から6年生は、「紙飛行機作り」「ニチレクボール ペタンク」「モルック」「沖縄エイサー」「ファミリーバトミントン」「万華鏡作り」「お茶体験」「お菓子作り」の講座から選択し、自分の興味あることや親子でやりたいことに意欲的に取り組んでいました。親子で会話を交わしながら夢中になって作品を作ったり、友達や親子でチームを作り活発に動いてスポーツをしたり、お茶体験やお菓子作りでおいしく味わったり、様々な日本の伝統文化に触れて心を躍らせてたりするなど、笑顔いっぱい笑い声や歓声があちらこちらに響き渡って、心温まる行事となりました。

ふれあいデーのような、子供の笑顔に満ち溢れ、学校、保護者、地域が一体となって子供たちを健やかに育てていく行事は、これからもずっと続けていくべきだと考えます。未来の宝である子供たちを、皆さんと一緒に育てていくよう全力を尽くしてまいります。

